

車上作動処理委託契約事業者の皆さまへ

誤った個別作動処理手順により 発熱・発煙事故が発生しました！



平素はエアバッグ類の適正処理にご尽力いただき、ありがとうございます。

先般、エアバッグ類個別作動処理の際にエアバッグコントロールユニットに接続されているコネクタ部の配線を切断し、束ねて、通電したことで車室内のハーネスが発熱・発煙し、車内の一部が焦げる事案が発生しました。

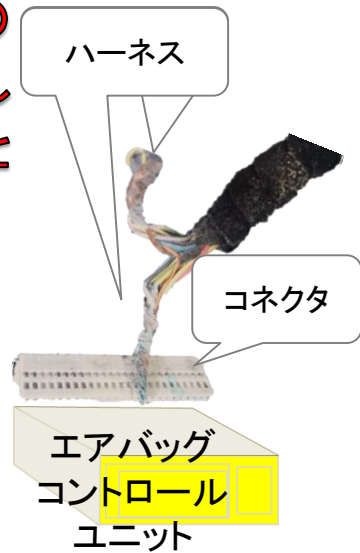
重大な人的・施設被害を引き起こす可能性があることから、必ず適正処理情報に基づいた作業を実施ください。



エアバッグコントロールユニット接続の
コネクタからのハーネスを切断し
2つに束ねて、通電すると

発火に繋がる

恐れがあります！



適正処理情報に基づく正しい手順で作業すること

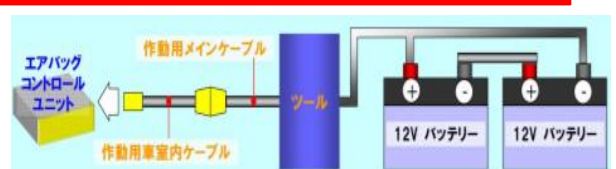
個別作動時には

- ・各インフレーター単位で結線し、作動すること
- ・過度な電流の流入を防止するため、通電後すみやかにバッテリーとの接点を離すこと

個別作動処理



一括作動処理 (JAMA方式)



万が一、事故等が発生した場合には、現場を保存(写真等による保存でも可)の上速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。



English



Urdu / اردو



Arabic / العربية



Russian / русский

自動車再資源化協力機構 (自再協)
E-mail: info@jarp.org